

令和5年度

奈良県公立高等学校入学者一般選抜学力検査問題

国語

注意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙には、受検番号を忘れないように書きなさい。
- 3 解答用紙の※印のところには、何も書いてはいけません。
- 4 答えは必ず解答用紙に書きなさい。

次の文章を読み、各間に答えよ。

この部分については
著作権により公表できません

この部分については
著作権により公表できません

この部分については
著作権により公表できません

(三) 線②は、どのようなことをたとえているか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 農家を紹介されたことで、不意に農業への興味が生まれたこと。
イ 自分が理想とする農業の在り方を、図らずも見つけ出したこと。

ウ 思いがけず、知人が自分と同じく農業を志す人だとわかったこと。
エ たまたま、農家とつながりのある人に農業への思いを話したこと。
ジンリ酒の一種

（四）線③について、筆者の何が「変わった」のか。文章中から八字で抜き出して書け。

(五) 線④にあるが、農業と生活が縫い目なくつながるとはどういうことか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
ア 自分の力で丁寧に栽培した作物を食べることで、家族のきずなが強くなるということ。

イ 農家の人にから聞く生きた知恵は、暮らしの中での自分の気づきと共通するということ。

ウ 作物を育て収穫することが暮らしに溶け込み、日々の営みの一部となるということ。

エ 自ら畑を耕し育てた作物が、多くの人の手や店を介して食卓に上るということ。

(六) 幸田文の文章を引用した筆者のねらいについての説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 答者と共通する考え方を示し、伝えたいことの説得力を増すねらい。
イ 答者の考に沿った事例を示し、自説を学術的に裏づけるねらい。
ウ 答者の考に賛同する論を示し、答者の着眼点を印象づけるねらい。
エ 答者とは異なる価値観を示し、多様なものを見方を提案するねらい。
ジンリ酒の一種

(七) 線⑤とは、日々の経験を通して何を理解していくことが簡潔に書け。

- (一) A、Dの漢字の読みを平仮名で書き、 B、Cの片仮名を漢字で書き。
（注）有機農業＝化学肥料や農薬の使用をひかえた農業
幸田文＝小説家
山椒＝芳香のある低木、果実は香辛料等にされる
ジンリ酒の一種
- (二) 切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
ア おそれ
イ いつくしみ
ウ あせり
エ やすらぎ

【二】次の【文章A】は、「知つておきたい地球科学」という本の一部であり、【文章B】は、この本の「おわりに」の一部である。これらを読み、各問に答えよ。

「この部分については
著作権により公表できません

この部分については
著作権により公表できません

(注) (鎌田浩毅「知つておきたい地球科学」による)

スケール＝規模
キーフレーズ＝問題を考えるための重要な手がかりとなる言葉
プロセス＝過程

大陸移動説＝現在地球上にある大陸は、時代とともに移動して分裂・接合し、現在の位置に至ったという説

ウェゲナ＝ドイツの気象・地球物理学者
プレート・テクトニクス＝大陸や大洋底の相互の位置の変動を、プレートの水平運動によつて理解する考え方

強調しなやかで強いさま

(一) 線①の「わたる」と同じ意味で使われているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 木々の間をわたる風 イ 連日にわたる会議
ウ 巧みに世をわたる人 エ 大海をわたる船

(二) 線②とあるが、「視座が違う」とは、地球史上起つた現象について考える際、何にどのような違いがあるということか。それを説明した次の文の()に当つてはまる言葉を、【】の部分から三字で抜き出して書け。

(一) ()の捉え方に長短の違つてあるということ。

(二) ()線③とはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

「この部分については
著作権により公表できません

ア 地球が変化してきた過程は検証すべきではないということ。

イ 地球を研究してきた過程は他には想定できないということ。

ウ 地球が変化してきた過程に仮定を挟み込む余地はないということ。

エ 地球を研究してきた過程に絶対的な正解は存在しないということ。

(四) 【II】の段落は【文章A】においてどのような働きをしているか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 前の段落の根拠を示し、内容の正しさを強調している。

イ 前の段落に疑問を投げかけ、新たな考え方を示している。

ウ 前の段落の具体例を示し、内容理解の手助けをしている。

エ 前の段落を深め、これから展開する内容につなげている。

(五) 【文章A】で筆者が述べている内容と合つてゐるものと、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 「過去は未来を解く鍵」という言葉は、ミクロの視座による考え方を根拠としている。

イ 地球上のすべての現象について勉強することで、様々な視座を身につけることができる。

ウ 地球科学には、非可逆性の他に、他の分野からの質問には回答できないという制約がある。

エ 地球科学を学ぶには、地球の歴史には思ひぬ事件が頻発することを知つておくことが重要である。

(六) 答えは【文章B】で、日本人と自然との関わりについて述べている。

(1) ()線④とあるが、日本人が「しなやかさ」を身につけてきた

のは、日本列島にどのような特徴があるからか。簡潔に書け。

(2) 「しなやかさ」を身につけてきた日本人が自然現象と上手に付き合

うとは、どうすることだと筆者は考へてゐるか。【文章A】中の言葉を用いて四十字以内で書け。

次の文章を読み、各間に答えよ。

十二月一日ごろなりしやらむ、夜に入りて、雨とも雪ともなくうち散りて、むら雲騒がしく⁽¹⁾ひとへに曇りはてぬものから、むらむら星うち消えたり。⁽²⁾引き被き臥したる衣を⁽³⁾更けぬるほど、丑二つばかりにやと思ふほどに、⁽⁴⁾引き退けて、空を見上げたれば、ことに晴れて、浅葱色なるに、光ことごとき星の大きなが、むらもなく出でたる、なのめならずおもしろくて、花の紙に、箔をうち散らしたるよう似たり。今宵初めて見そめたる心地す。

（建礼門右京大夫集）による

（注）むら雲＝集まりむらがっている雲
 ものから=けれども
 むらむら=まだらに
 引き被き=頭からかぶつて
 卯二つばかり=午前二時ごろ
 浅葱色=薄い藍色
 むらもなく=一面に
 なのめならず=並々でなく
 花の紙=藍色の紙
 箔=金・銀・銅などの金属を薄く延ばしたもの

（三）（二）（一）
 —— 線①を現代仮名遣いに直して書け。
 —— 線②とあるが、何を引き退けたのか。文章中から一字で抜き出して書け。
 —— 線③について、筆者が「おもしろく」感じていることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 雨とも雪ともわからないものがずっと降り続く中で、雲間から大きな星が一つだけ輝いている様子。
 イ 曇っていた夜空が時間の経過とともにすっかり晴れて、強い光を放つ大きな星が一面に輝いている様子。

四
ウ 夜空一面を覆っている雲の切れ間から、数えきれないほど多くの星が華やかに輝いている様子。
エ 空を覆う雲がいつの間にかすっかり晴れて、大きな一つの星がひときわまぶしく輝いている様子。

① 桜
② 開
③ 祖
④ 浴

ア ①と② イ ②と③ ウ ③と④ エ ①と④

五

春香さんは、国語科の授業で批評文を書く学習をしている。次は、「題材のポスター」と、春香さんが書いた【批評文】である。これらを読み、各間に答えよ。

【題材のポスター】

この部分については
著作権により公表できません

（日本図書館協会のウェブサイトから）

【批評文】

私は、このポスターのよさは、「図書館をもっと身近に暮らしのなかに」というキャッチコピーに調和した絵にあると考える。

ポスターとは、見る人の視覚に訴えかけるものであるので、短くて印象的な言葉や絵写真などを効果的に用いることが大切である。題材のポスターには、本を読む動物たちや人物がかわいらしく描かれ、絵がかもし出すあたたかい雰囲気が、五音と七音を生かしたりズム感のある親しみやすいキャッチコピーにびったりと合っている。見る人は、キャッチコピーだけでなく絵も捉えることで、ポスターが呼びか

ける「図書館を身近なものとして利用し、本に親しんでほしい」というメッセージを容易に受け取ることができる。
このように、題材のポスターは、キャッチコピーを魅力的に描き出した絵があることで、より効果的に図書館の利用や読書を促していると言える。

（一）春香さんが【批評文】で取り上げた、ポスターを分析する際の観点として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 改善すべきところ
イ 全体の構図
ウ 絵の効果
エ 作成者の思い

（二）春香さんが【批評文】からわかる春香さんの述べ方の工夫として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 初めと終わりに考えを置き、根拠を示して具体的に述べている。

イ 読み手に繰り返し問い合わせ、関心をもたせるように述べている。

ウ 自分の考えに客観的なデータを加えながら、論理的に述べている。

エ 複数の具体例と比較し、題材の特徴を強調するように述べている。

（三）【題材のポスター】は、図書館の利用や読書を呼びかけている。読書の意義についてのあなたの考えを、次の①、②の条件に従って書け。

条件① 二段落構成で書くこと。第一段落では、あなたが考える読書の意義を、第二段落では、そのように考える理由を書くこと。

条件② 原稿用紙の使い方に従って、百字以上百五十字以内で書くこと。